

令和2年7月20日提供

問い合わせ先	
担当課	健康福祉局 長寿社会部 地域包括ケア推進課
直通	072-228-0375
内線	7270
FAX	072-228-8918

**新型コロナウイルスを乗り越えよう！
新しい生活様式に対応したフレイル予防を新たに検証します
～ウィズコロナ「フレイル予防」検証事業～**

新型コロナウイルス感染防止のための緊急事態宣言による不要不急の外出を控え、「3密」を避ける生活が長期化したことにより、高齢者が運動不足になったり、心身機能が低下するという生活上の課題があります。

自粛生活を続けていた今の高齢者の状況を知り、ICT技術を活用した「デジタルフレイル予防」のモデル事業の実施により、健やかに過ごすためのポイントや工夫について検証します。

記

1 取組概要

○自粛生活による心身への影響とデジタルデバイス活用意識調査

緊急事態宣言による高齢者の身体活動量や他者との交流の実態、自粛時の活動の違いによる心身機能維持の要因、メールやSNSの利用の現状や課題について調査

調査対象：市内約9,400人

調査時期：令和2年10月

○デジタルフレイル予防事業

「あるく」（運動）、「しゃべる」（社会参加）、「たべる」（食生活・口腔機能）というフレイル予防に有効な要素を取り入れたICT技術を活用したオンライン講座や交流、日常活動のモニタリング等をモデル実施

2 令和2年度7月補正予算額

10,798千円